

2025 年を見据えた 泉大津市における地域包括ケアシステムの深化・推進の取り組み

～高齢者がいきいきと輝く(元気、ナンバーワン)地域づくりのために～

地域包括ケアシステムの深化・推進

要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域づくりへの取り組み

- ①在宅医療・介護連携の推進への取り組み
- ②認知症施策の推進への取り組み
- ③包括ケア会議（地域ケア会議）の拡充
- ④生活支援サービスの充実・強化への取り組み
- ⑤介護予防・フレイル予防の取り組み
- ⑥住まいのあり方を考える取り組み

包括ケア会議の拡充

多職種による個別の対応困難ケース等の検討を通して地域課題を確認し、行政に対して解決に向けた提言を行う（地域包括ケアシステムの実現のための有効なツールであり、更に取り組みを進めることが重要）

- ①地域包括ケアシステム構築会議：各専門部会からの提言を統括し、「泉大津版の地域包括ケアシステム」深化・推進について検討
- ②権利擁護部会：個別ケースの課題分析による地域課題抽出
- ③自立支援部会：高齢者の自立支援に資するケアプラン検討
- ④認知症部会：認知症高齢者の実態把握と支援の検討
・地域課題の把握
・地域づくり、社会資源の創設

高齢者等安心して生活ができる暮らしやすいまちづくりへ地域が抱える生活課題について地域住民と関係機関が連携して解決に向けて取り組む「我が事・丸ごと地域福祉の推進」

住まいのあり方を考える

住み慣れた場所で安心して暮らすための取り組み

【総合相談】

- ◆ 総合相談において高齢者の様々な住まい方についての相談を受け出来る限り住み慣れた地域でその人らしく、人生の最期まで住み続けられるよう情報提供等の支援を行う。

【関係機関との連携】

- ◆ 悪質なりフォーム業者による被害防止（消費生活相談等との連携）
- ◆ 福祉なんでも相談：判断能力低下後（認知症・精神障がい等）の住まい。成年後見制度・公正証書遺言・死後事務委任契約等
- ◆ ㈱UR コミュニティ 泉北住まいセンター ウェルフェア業務課との情報共有・連携への取り組み（R3.11月）
- ◆ 入所施設との情報交換・研修など顔の見える関係づくりへの取り組み（高齢者住まい情報交換会 R4.1月）

令和3年度版



生活支援サービスの充実・強化

◆は実施、◇はコロナにより中止

生活支援サービスの充実を図ることにより、高齢者が利用可能な多様なサービスが地域で提供できるまちづくりの取り組み

【体制づくり・連携】

- ◆ 生活支援コーディネーターの配置（我が事・丸ごとの地域福祉推進）
- ◆ 高齢者が利用可能な多様なサービスに関する資源マップ「高齢者お出かけ集」（平成30年度版）→改訂版は令和4年度発行に向け検討中
- ◆ 生活困窮者への市民生活応援窓口（生活困窮者自立支援事業）との連携した相談支援への取り組み。
- ◇ 要池住宅（府営）「みんなの井戸端会議」毎月第2土曜 午前10時 集会所 → 居場所づくり（住民主体）コロナ禍のなか再開に向け関係機関で調整中
- ◇ くすのき団地（UR）「くすの木団地 どんぐりカフェ」毎週金曜日午前10時30分 団地集会所 → 居場所づくり（住民主体）コロナ禍の中カフェを中止し屋外でのラジオ体操を中心にした活動を調整中。

【市民啓発】

- ◆ 泉大津市ささえあう地域づくり協議体会議
 - ・東豊中町における「地域資源立ち上げプロジェクト」の取組み
 - ・「体操・運動の出来る場」・「話ができる（聞ける）場」の創設 → ラジオ DE つながるラジオ体操（天津神社・ローズテラス・東豊中町3丁目高架下）
 - ・「話のできる（聞ける）場」の創設 → ミニ講座の開催（第1回）

【担い手育成】

- ◆ 生活支援の担い手育成（家事エンジャー養成研修会）
 - ◆ 第13回：R3年10月14日・21日・28日（修了者5名）
 - ◆ 第14回：R4年2月22日・3月1日・8日（修了者11名）

在宅医療・介護連携の推進

◆は実施、◇はコロナにより中止

医療と介護が必要となっても住み慣れた地域で住み続けられるよう、在宅医療・介護連携を推進する

【体制づくり・連携】

- ◆ 在宅医療・介護連携コーディネーター（地域包括配置）：在宅医療・介護連携を支援する相談窓口
- ◆ 和泉保健所管内広域での在宅医療・介護連携コーディネーターの連携
- ◆ イカロスネット等を通して医療・介護連携を強化し、在宅療養生活を支えるための多職種連携強化に取り組む
- ◆ 在宅医療・介護連携推進事業(1)(2)(3)(4)に基づく体制の構築

【研修・検討会】

- ◆ 医療・介護の専門職向け研修会の開催（イカロスネット、iZak）
 - >イカロスネット研修会～R3年9月『Zoomの使い方』YouTube動画配信
 - >iZak研修会～R3年10月14日（木）『多職種で支える在宅医療』Zoomオンライン・ハイブリット研修
 - >イカロスネット事例検討会～R3年12月4日（木）『ACP』Zoomオンライン研修
- ◆ 病院・在宅医療と介護の課題を検討（地域医療ケア検討会）
- ◆ 大阪府在宅医療移行支援事業 R4年2月3日（木）5日（土）の2日間に渡り『本人の思いをつなぎ、叶える 人生100年時代の在宅医療』Zoomオンライン研修

【市民啓発】

- ◇ 在宅医療フォーラム テクスピア小ホール
- ◆ 在宅医療講演会～R3年12月9日（木）『在宅医療を知ろう！大切な今を前向きに生きるために』

認知症施策の推進

◆は実施、◇はコロナにより中止

認知症の人ができる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるための取り組み

【市民啓発】

- ◆ 認知症サポーター養成
- ◆ オレンジ手帳（ケアパス）の増刷・配布：認知症の形態に応じた医療・介護の情報提供
- ◆ ステップアップ講座の開催、チームオレンジ：活動への発展支援（R4.3月22日）
- ◆ 泉大津ブリッジ実行委員会によるRUN伴2021への参加（R3.10月31日）
- ◆ 世界アルツハイマーデー SomethingOrange オレンジマスク着用（R3.9月21日）
- ◇ 認知症啓発映画上映会（R3.12月）
- ◇ 認知症フォーラム（R3.9月）

【相談・対応】

- ◆ 認知症初期集中支援チーム事業（チーム数：3チーム、サポート医6名）
- ◆ 出張認知症・介護相談会の取り組み（市立図書館シーブラ R3.11月11日）
- ◆ 認知症カフェ支援（相談、交流、居場所など）：一隅を照らす庵、風街、紅病院ハマダ

【本人・家族支援】

- ◆ Come e come e 倶楽部：若年性認知症の人と家族によるつどい（R3.1月～月1回）

【専門職研修】

- ◆ 開催なし

介護予防・フレイル予防

高齢者自身が日常生活の活動性を高め、適切な運動や栄養、社会参加で心身の機能を維持・回復を図る

【市民啓発】

- ・「かいごよぼう体操」、「筋力アップ体操」パンフレット配布・筋力アップ運動の動画作成
- ・「かいごよぼうチャンネル」FM いずみおおつで介護予防の放送と、写真付きのパンフレット配布
- ・「フレイル予防 ロビー展示」健康づくり課と連携・口腔ラジオ放送
- ・市のHPに、運動や熱中症対策の動画を掲載

【参加機会】

- ◆ ラジオ体操 2回
- ◆ 筋力レベルアップ教室 3クール 8回講座（6月・8月・10月開始）
- ◆ 自主サークル（あしゆび講師派遣）、楽笑会